

令和元年10月3日14時00分  
資料配布 近畿地方整備局

## 南海トラフ地震等に備え、協定締結式、ヘリの離発着訓練を行います。 ～10月9日（水） 近畿圏臨海防災センター（堺市）～

近畿地方整備局と堺市並びに陸上自衛隊中部方面総監部は、南海トラフ地震などの大規模災害等に備え、協定を締結します（別添資料1）。

10月9日に近畿圏臨海防災センターで、協定締結式及び陸上自衛隊中部方面隊によるヘリコプター離発着訓練を行います。

本協定は、南海トラフ地震などの大規模災害等が発生した際に堺泉北港にある堺2区基幹的広域防災拠点内で事前に自衛隊が使用する区画の設定及び平素の協力等を定めるものです。

今回、協定を締結するにあたり、協定締結式を行います。また、併せて陸上自衛隊中部方面隊によるヘリコプター離発着訓練を行います。

- 日時 令和元年10月9日（水）15:45～16:00
- 場所 大阪府堺市堺区匠町3番2  
近畿地方整備局 港湾空港部 近畿圏臨海防災センター（別添資料2）
- 次第 ①協定締結者紹介  
②挨拶  
③協定締結  
④写真撮影
- ヘリコプター離発着訓練 15時15分（着陸）、16時15分（離陸）  
注）・悪天候時は中止します。  
・離着陸の時間は、15分程度前後する場合があります。
- 取材について  
取材については、10月7日（月）16時までに、別添の取材申込書をFAX願います。  
取材にあたっては、取材申込書の留意点を参照願います。

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、神戸民放記者クラブ、  
神戸海運記者クラブ、みなと記者クラブ、  
※別途、堺市より「堺市政記者クラブ」「在堺記者クラブ」にもそれぞれ配布します。

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部 近畿圏臨海防災センター  
センター長 きみじましんじ 若島伸治 課長補佐 かねだしんじ 兼田伸二 防災調整係長 ぶんやだいすけ 文屋大介  
電話番号:072-221-7301 FAX:072-221-7321

## 取材申込書

取材を希望する場合は本書にて、近畿圏臨海防災センターにお申し込み下さい。

申込みは、10月7日（月）16：00迄にお願いします。

**申込み先（FAX番号）：072-221-7321**

<取材にあたっての留意事項>

- ・取材にあたっては、自社腕章を着用下さい。
- ・近畿地方整備局長、中部方面総監、堺市長への囲み取材は行わず、式典終了後に各機関担当者が個別取材を受けます。
- ・天候などの影響により、スケジュールに変更が生じる場合があります。
- ・ヘリコプターの離発着時には安全確保のため立入規制を行う場合があります。
- ・現地では、係員の指示に従って下さい。

**会社名及び部署名**

**取材者 氏名（全員の氏名を記載願います。）**

①（代表者）

\_\_\_\_\_

②

\_\_\_\_\_

③

\_\_\_\_\_

④

\_\_\_\_\_

※駐車予定車両の台数

台

**連絡先（代表者の電話番号） 当日連絡が取れる携帯電話番号をお願いします。**

上記のとおり取材を申し込みます。

近畿地方整備局港湾空港部 近畿圏臨海防災センター あて

## 災害時等の堺2区先端緑地の占用に関する協定

### 1. 内容

災害時等に自衛隊が災害派遣活動の目的で基幹的広域防災拠点の緑地を占有する場合について、使用する区画を事前に定めるもので、迅速かつ適切な災害派遣活動を支援するもの。

基幹的広域防災拠点は国内に首都圏で2箇所と近畿圏で1箇所の計3箇所存在するが、自衛隊が実施する災害派遣活動に基幹的広域防災拠点を占有する協定を結ぶのは、**全国でも初の取り組み。**

### 2. 締結者

- 甲：近畿地方整備局長 井上智夫  
 乙：堺市長 永藤英機  
 丙：陸上自衛隊中部方面総監 野澤真

### 【堺2区先端緑地 利用イメージ】

【平常時】災害時にオープンスペースとして機能する広く平らな港湾緑地を、市民の憩いの場、防災啓発活動拠点として利用。



【災害時】救援物資の受け入れ・中継・搬送を行うとともに、広域支援部隊の集結地やベースキャンプとして利用。



近畿圏臨海防災センターへのアクセス並びに会場図

【アクセス】

**電車でお越しの方**

南海電鉄(南海線・空港線)「堺駅」下車

- ①南海バス(堺駅西口バス停2番のりば)「匠町」行き(S1・S3・S4)へ乗車  
バス停「匠町」で下車後徒歩25分(約1.7km)
- ②南海バス(堺駅西口バス停1番のりば)北回り(20)へ乗車  
バス停「堺浜シーサイドステージ」で下車後徒歩27分(約1.8km)

大阪市営地下鉄(四つ橋線)「住之江公園」下車

- ①南海バス(住之江公園駅前バス停)「匠町」行き(S11)へ乗車  
バス停「匠町」で下車後徒歩25分(約1.7km)

**お車でお越しの方**

阪神高速道路「三宝IC」から約3km  
国道26号線「海山町」交差点を西へ約5km

【会場図】



※締結式会場から訓練会場への誘導はご案内させていただきます。

## 堺泉北港 堺2区 基幹的広域防災拠点

堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点は、近畿地方整備局が京阪神都市圏における「大規模地震発生時等の災害応急活動の拠点施設」として整備した施設です。

近畿圏臨海防災センター・堺2区先端緑地・臨港道路・耐震強化岸壁からなり、平成24年4月1日(日)の供用開始以降、24時間・365日職員の常駐体制を実施しています。

### 基幹的広域防災拠点の5つの機能

#### 【救援物資の中継・分配機能】

被災地域外から被災地域内への救援物資の中継輸送・集積・荷さばき・分配等を行う各種交通基盤のネットワークと連携した救援物資の中継分配機能。

#### 【広域支援部隊の集結地・キャンプ機能】

全国から集結する広域支援部隊や救護班、国内外からのNPO・ボランティア等の活動要員の一次集結、野営、連絡等を行うことができるベースキャンプ機能。

#### 【応急復旧用資機材の備蓄機能】

当該広域防災拠点の応急復旧用資機材等の備蓄機能。

#### 【海上輸送支援機能】

海上を利用した緊急物資や人員の搬入・搬出を行うことができる耐震強化岸壁及び浮体式防災基地を活用した救援物資等の海上輸送支援機能。

#### 【災害医療支援機能】

臨時ヘリポートを活用し、災害拠点病院などと連携した災害時医療の補完・支援機能。

